



# 安重根義士記念館 日韓親善交流の原点

●韓国の全羅南道にある木浦共生園で開催される元共生園の園長であられた田内千鶴子さんの生誕110周年記念式典への出席・参加と、全羅南道知事や議長への表敬訪問を通じて更なる日韓親善と経済観光分野での交流発展を期す目的で、10月26日から29日にかけて、知事以下44名の県訪問団が結成され訪韓し、私も県議会議員として参加しました。

団には25年間にわたって田内千鶴子さん・共生園と本県の橋渡し役として貢献してこられ韓国全羅南道名誉県民の称を受けている高知県日韓親善協会の西森潮三名誉会長、並びに、同会会長の寄本宏明明德義塾校長、さらに通訳を兼ねた竹村泰善同会会員も同行していました。

●訪韓前、西森氏は私を議会控え室に訪ね、氏がこの間、本県の一県民として日韓親善にかかわってきた経緯を話され、その経験から「日韓親善を図り、



よって、観光経済交流を促進するには、日本に併合され植民地となった歴史的経緯を私たちがよく知り韓国の人々の歴史観、国民感情を尊重・理解することが肝要である」旨を強調されました。そして、今回の訪韓団に参加している県議で未だ



安重根記念館に訪れていない私に、親善協会の一行と一緒に記念館を訪問しないかと提案がありました。そして、かねてから西森氏と交流のある元韓国国務総理で記念館の理事長である金滉植（キム・ハンシク）氏に館内を案内していただき、のちに、晚餐をとともにし、対話・懇親を深め知り合い、双方が理解し合い、もって両県交流親善の更なる促進を高知県の議会人として図る協力をしていただけないかとお話がありました。

そこで、私と石井県議は、2日目の午後の時間帯を使い、文化交流を図り両県の親善を深めるため親善協会の3氏と高知県建設業協会川上専務理事、そして議会事務局濱口栄喜総務課長と共に7名で、安重根義士記念館を訪問しました。（次号に続く）

**まもろの平和**

なくそ・原発・いん・のち ACT8

外交のちからで平和を  
戦争と核のない世界へ

●11月27日

10時～10時30分 大行進

10時30分～13時

ダンスパフォーマンス、ステージ&スピーチ、プチバザー

●高知市中央公園（小雨決行）

【主催団体】・まもろの平和なく  
そう原発実行委員会 ・高知憲法  
アクション ・原発をなくし自  
然エネルギーを推進する高知県  
民連絡会